

静岡県立大学短期大学部研究紀要 投稿要領

1. 執筆要領

- (1) 投稿論文は日本語とし、1 ページ目には、投稿論文の種類、表題(日本語と英語の併記)、著者名(日本語と英語の併記)(姓名の間は半角空白を空ける)、所属、和文キーワード(3～5 語)を記載する。
- (2) 本文の前に日本語(600 字以内)の要旨を記載する。
- (3) 共著者は、論文の内容に責任をもつ協力者に限られる。単なる補助者、部分的協力者は、共著者とはせず、必要であれば脚注又は謝辞において氏名を明記する。
- (4) 原稿は常用漢字、現代仮名遣いを用い、横書きとし、数字は算用数字、年号は西暦を用いる。
- (5) 本文の長さは、種類を問わず、図、表、引用文献、キーワードなどを含み、A4 用紙(縦置き)で 20 頁以内とする。ただし、図書館・紀要委員会において特に必要と認めた場合はこの限りではない。
- (6) 本文は A4 サイズ(幅 210mm×高さ 297mm)、1 ページ 28 行とする。
- (7) 本文及び要旨の文字は、MS 明朝体 12 ポイントとする。表題は、MS ゴシック体 12 ポイント、副題がある場合は 12 ポイントとする。章節項等の見出し及びキーワードは、これに含まれる半角英数字を含め、MS ゴシック体 12 ポイントとする。表題や見出し、表や図のタイトル以外の本文中の英数字は、Times New Roman 12 ポイントとする。
- (8) 句読点は、全角の句点マル(。)と読点テン(、)とする。
- (9) 表題は、できるだけ簡潔に付けることが望ましい。一連の研究の場合でも、番号の異なる同一表題は好ましくない。副題は、全角 2 倍ダッシュ(——)を前後に付ける。
- (10) 章節項等の見出しの上は 1 行空ける。また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述する。
- (11) 見出しには、算用数字(半角)で番号を付ける。見出しの中項目以降の表記はピリオド(半角)を付して、適宜番号を増やす形で構成する。小見出し以下の数字の横には見出しの内容との間に全角スペースを 1 つ入れる。見出し内の英数字には半角を用いる。
(例) 1. 見出し abc123
1.1 小見出し abc123
1.2 小見出し abc123
- (12) 表や図の番号は、表 1、図 10(番号は半角数字)のように振る。番号を振った表の題は表の上の中央に置き、番号を振った図の題は図の下の中央に置く。表や図の題は MS ゴシック体 12 ポイントとする。
- (13) 表や図の題はできるだけ簡潔にし、表や図の説明文は本文中に記載する。
- (14) 表や図は鮮明なものを用いることとし、本文に比べて大きな紙面を要するため、厳選し、必要なもののみを効果的に使用する。
- (15) 表や図の作成に当たってはカラー又はグレースケールで作成する。また、大外の枠、外枠、背景色、目盛線は付けない。
- (16) 表中の線はできるだけ少なくし、適当にスペースをとる。縦罫は最小限として、斜線は用いない。
- (17) 表の項目は、左揃えとする。数値は、有効数字を考慮して表記する。また、数字は小

数点の位置、小数点以下の桁数を揃える。

- (18) 写真は、図と同様に扱う。写真を掲載する場合には、個人が特定できないものを使用する。
- (19) ポートレートは、被写体に了解が得られた場合のみ、掲載する。
- (20) 外国の人名、地名などの固有名詞は、原則として原語を用いる。
- (21) 注は、本文中、引用箇所の直後に注 1) 右上付きで記入し、本文末尾に出現順にまとめて記載する。
- (22) 参考文献は、必要最小限にとどめ、本文中、引用箇所の直後に 1) 右上付きで記入し、注の後に一括して出現順に付しまとめて記載する。同じ文献を複数回引用する場合、先の番号を用いて記載する。
- (23) 文献の記載方法は、原則として次のとおりとする。共著者名はすべて省略せずに明記する。

ア 雑誌論文（日本語）：著者名（西暦年）「題目」『掲載誌名』巻（号），始頁－終頁。

イ 書籍（日本語）：著者名（西暦年）『書名』，pp. 始頁－終頁，出版社（者）。

ウ 書籍の特定の章（日本語）：著者名（西暦年）「章名」（書籍の著者・編者名）『書名』出版社（者），pp. 始頁－終頁。

エ ウェブサイト（日本語）：著者（作成者）名（西暦年）『サイト名』（URL）（最終アクセス日：西暦年〇月〇日）。

オ 雑誌論文（英語）：著者名（西暦年），題目，雑誌誌名，巻（号），始頁－終頁。

原則として、標記されたとおり記述すること。掲載誌名及び巻はイタリック体とする。

カ 書籍（英語）：著者名（西暦年），書名，出版社（出版地）。

原則として、表記されたとおり記述すること。書名はイタリック体とする。

キ 書籍の特定の章（欧語）：著者名（西暦年），章名，書籍の著者・編者名，書籍名，pp. 始頁－終頁，出版社（出版地）。

原則として、表記されたとおり記述すること。書籍名はイタリック体とする。

ク ウェブサイト（英語）：著者（作成者）名（西暦年），サイト名，URL（Accessed：西暦年〇月〇日）

原則として、表記されたとおり記述すること。サイト名はイタリック体とする。

(例) 1) 小鹿太郎 (2001) 「表題」『雑誌名』巻 (号), 〇-〇.

2. 研究倫理

人を対象とした研究は「ヘルシンキ宣言（2013年10月修正）（以降の修正も含む）」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省、厚生労働省、経済産業省：令和3年3月23日通知 令和5年3月27日一部改正）（以降の改正も含む）」を、動物実験は「動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省、厚生労働省、農林水産省：平成18年6月1日告示又は通知（以降の改正も含む）」を遵守しなければならない。

(1) 人を対象とする研究においては、研究対象者の個人に関する情報を適正に取り扱い、承認を受けた研究倫理審査委員会のすべての正式名称及び承認番号並びに同意取得等の手続きについて本文中に記載する。

(2) 事例報告や症例報告については、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取

扱いのためのガイドンス（厚生労働省、個人情報保護委員会：平成 29 年 4 月 14 日通知令和 5 年 3 月一部改正）（以降の修正も含む）」及び同ガイドンス別表 5 にある「医学研究分野における関連指針」に沿って作成する。また、同意書のコピーを投稿時に添付する。

- (3) 臨床試験については、「臨床研究法施行規則（厚生労働省：平成 30 年度省令第 17 号令和 4 年 9 月 30 日一部改正（以降の修正も含む）第 24 条第 1 項」に定めるデータベース、又は UMIN センターの臨床試験登録システム（UMIN-CTR）に登録されたものに限る。

3. 投稿手続・方法

- (1) 原稿の投稿は電子メールの添付ファイルとして提出すること。

投稿メールアドレス：sizlib@u-shizuoka-ken.ac.jp

- (2) Word ファイルでの提出を推奨する。

- (3) そのほか「1 執筆要領」に沿って作成した原稿とともに、下記の書類をメール添付で提出すること。

投稿要領 様式 1 静岡県立大学短期大学部研究紀要 投稿論文添付票

投稿要領 様式 1-2 推薦書

（著者が短期大学部の専任教員及びその共同執筆者以外の者の場合のみ提出）

投稿要領 様式 2 静岡県立大学短期大学部研究紀要 投稿論文チェックシート

投稿要領 様式 3 静岡県立大学短期大学部研究紀要利益相反（COI）自己申告書

（投稿論文の全ての著者について、それぞれ申告書を提出すること。）

4. 論文の受付及び採否

- (1) 投稿論文の受付日は、専用メールアドレスで受信された日とする。ただし本紀要投稿要領に従っていないものは受け付けないことがある。

- (2) 論文の採否は、静岡県立大学短期大学部研究紀要審査要領による査読を経て図書館・紀要委員会が決定する。

- (3) 図書館・紀要委員会の判定により、論文の修正を著者に求めることがある。

- (4) 採用の決定が行われた日を受理日とし、受理後は、表題（日本語・英語）、著者名（日本語・英語）、所属機関、連絡者情報、研究倫理委員会名称（承認番号）、謝辞、利益相反、著者資格等を明記した本文と図表ファイル（MS Word、MS Excel 等）、並びに著者全員が署名した投稿要領 様式 4 の著作権譲渡同意書（PDF 化したもの）をメール添付で図書館・紀要委員会あてに送付する。

5. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は図書館・紀要委員会に帰属し、図書館・紀要委員会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。最終論文提出時、投稿要領 様式 4 著作権譲渡同意書に著者全員が署名し提出する。著者が著作権所有者から許可を得て、投稿時にこれを証明する関連文書を提供する場合にのみ、図及び表又はその他の以前に公開された資料の使用が可能である。

6. 著者校正

査読を経て、図書館・紀要委員会で受理された投稿論文については、著者校正を1回行う。ただし、校正の際には、図書館・紀要委員会からの加筆・修正依頼以外の著者による加筆・修正は原則として認めない。

最終的な校閲・校正の証明は、メール添付で図書館・紀要委員会あてに送付する。

7. 利益相反

利益相反 (Conflict of Interest : COI) の申告の対象は、本紀要すべての投稿論文とする。筆頭著者は著者全員の COI 状態を個別に取りまとめ、開示しなければならない。開示内容は論文末尾に記載し公表する。COI 状態がない場合には、末尾に「本論文に関する著者の利益相反はない。」等の文言を記載する。筆頭著者は著者全員の申告について責任を負う。

8. 守秘義務

投稿中の論文、又は著者に返送された論文はすべて機密扱いとなる。著者は図書館・紀要委員会からの投稿に関するすべての連絡を非開示にすることに同意することになる。査読委員の身元は、査読委員から正式かつ明示的に要請されない限り開示されない。査読委員は、投稿された原稿の機密性を本紀要の論文を査読する契約の一部として維持することに同意する。

9. その他

- (1) 校正や編集において特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。
- (2) 著者は、本著作物を静岡県立大学機関リポジトリで公開することを承諾する。

附則

- 1 この要領は、令和6年6月5日から施行する。
- 2 この要領は静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則第4条に基づくものである。
- 3 この要領の改廃は図書館・紀要委員会の議を経て、短期大学部部長が決定する。
- 4 紀要執筆要領は、廃止する。

投稿要領 様式1

静岡県立大学短期大学部研究紀要 投稿論文添付票

1 投稿論文の種類 (○で囲むこと)

原著論文 報告 資料 その他

2 表 題 :

3 著 者 :

4 和文キーワード (3～5語) :

5 連絡先

(1) 所 属 :

(2) メールアドレス :

(3) 電話番号 :

6 確認事項 (□にチェックを入れ、最後に署名・捺印をお願いします)

この論文は同時に他の学術雑誌に投稿していない。

この論文は未公開である。学術および一般雑誌、大学や研究機関等の紀要や学術機関リポジトリ、学術および一般図書に掲載されたことはなく、印刷中でもない。

著作権について十分に配慮した。例えば、①既公開論文 (自身の先行研究論文を含む) における本文・図表・尺度・調査紙 (質問項目・検査項目など) の引用に際し出典を明示した。②既公開論文における図表や尺度・調査紙を改変して引用する際、改変したことを論文に明記した。③また改変にあたり許可が必要な場合、著作権を持つ出版社等に許可を得た。④未和訳の尺度や調査紙を翻訳・翻案して利用し論文に引用する際、著作権を持つ出版社等に許可を得た。⑤自ら関与した共同研究のデータを論文に利用する際、共同研究者やデータの管理者に了解を得た。⑥写真等の使用にあたっては、原則として個人が特定されないよう配慮した上で、被写体となった人から投稿・公刊の承諾を得た。

(署名)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

静岡県立大学短期大学部図書館・紀要委員長 様

(推薦者) 所属 _____

職名 _____

氏名 _____

推薦書

下記の者について、静岡県立大学短期大学部研究紀要への投稿者として推薦します。

記

著者の氏名	
著者の所属	
職 名	
投稿者と推薦者の関係	
表 題	

(推薦者署名) _____

注 著者が本学部の専任教員及び本学専任教員との共同執筆者以外の者の場合のみ提出すること。

投稿時に推薦者の署名入りの推薦書（本様式）を PDF 化したものをメール添付で図書館・紀要委員会に提出すること。

静岡県立大学短期大学部研究紀要 投稿論文チェックシート

投稿時に下記項目について確認し、チェック欄に✓を入れる（☑）又は塗りつぶし（■）で、原稿に添付してください。原稿の体裁・様式等必要項目が投稿要領に則していない場合、投稿を受け付けられない場合もあります。

項目確認事項

項目	詳細	チェック欄
表題 著者名 要旨 キーワード	原稿の1ページ目に、論文の種類、表題（日本語と英語の併記）、著者名（日本語と英語の併記）（姓名の間は半角空白を空ける）、所属、和文キーワード3～5語を記載している。	<input type="checkbox"/>
	本文の前に、日本語の要旨（600字以内）を記載している。	<input type="checkbox"/>
本文 見出し	本文は Word ファイルを推奨、日本語とし、サイズA4（幅 210mm×高さ 297mm）、1ページ28行	<input type="checkbox"/>
	原稿内のフォント設定が投稿規程に準拠している。 <input type="checkbox"/> 日本語表題：MS ゴシック体 12pt <input type="checkbox"/> 日本語副題（ある場合）：MS ゴシック体 12pt <input type="checkbox"/> 日本語執筆者名及び所属：MS ゴシック体 12pt <input type="checkbox"/> 日本語要約文：MS 明朝体 12pt <input type="checkbox"/> 日本語キーワード：MS ゴシック 12pt <input type="checkbox"/> 本文中の章節項等の見出し：MS ゴシック体 12pt（これに含まれる半角英数字も対象とする。） <input type="checkbox"/> 本文の文字：MS 明朝体 12pt。ただし英字及び数字（算用数字）は Times New Roman 12pt とする。	<input type="checkbox"/>
	章節項等の見出しの上は1行空けている。 また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述している。	<input type="checkbox"/>
	見出しには、算用数字（半角）で通し番号を付けている。	<input type="checkbox"/>
図表	表や図の番号は、表 1、図 10（半角数字）のように振られている。表や図の題は、表は上中央、図は下中央に置いている。表や図の題は MS ゴシック体 12 ポイントになっている。	<input type="checkbox"/>
注 文献	注は、本文中、引用箇所の直後に右上付きで ^{注1)} のように記入し、本文末尾に出現順にまとめて記載している。	<input type="checkbox"/>
	参考文献は、必要最小限にとどめ、本文中、引用箇所の直後に右上付きで ¹⁾ のように記入し、注の後に一括して出現順に付しまとめて記載している。 同じ文献を複数回引用する場合、先の番号を用いて記載している。	<input type="checkbox"/>
研究倫理 (該当しない場合は☐)	人を対象とする研究においては、承認を受けた研究倫理審査委員会のすべての正式名称及び承認番号並びに同意取得等の手続きについて本文中に記載した。	<input type="checkbox"/>
	事例報告、症例報告については、投稿要領に定める「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」等に沿って作成し、同意書のコピーを添付した。	<input type="checkbox"/>

投稿要領 様式 3

静岡県立大学短期大学部研究紀要利益相反(COI)自己申告書

著者名： _____

表題論文： _____

投稿論文のすべての著者がそれぞれ本申告書を提出すること。

投稿時から遡って過去1年以内での発表内容に関する企業・組織または団体（以下「企業等」という。）とのCOI状態について記載すること。

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名：内容を記載
①報酬・給与等 1つの企業等から年間100万円超の報酬・給与、コンサルタント料、謝金、原稿料等を得ている。	有・無	例 小鹿太郎：(株)〇〇製薬：報酬 小鹿花子：(株)〇〇機器：給与
②共同研究等 1つの企業等から共同研究等を年間200万円超受け入れている。	有・無	
③物品・サービス等 1つの企業等から年間500万円超の物品・サービスの購入している。	有・無	
④株式等 1つの企業等の株式を8%以上保有している。	有・無	

(本COI申告書は論文掲載後2年間保管されます。)

申告日 年 月 日

(署名) _____

著作権譲渡同意書

「静岡県立大学短期大学部研究紀要投稿要領」に基づき、下記の著作物が静岡県立大学短期大学部図書館・紀要委員会（以下、「貴委員会」という。）に受理されたとき、以下の事項に同意します。

（知的財産の取り扱い）

第1条

- 1 私は、当該著作物について、著作権（著作権法27条、28条の権利も含む。）の帰属が貴委員会にあることに同意します。
- 2 私は、前項に係る著作者人格権の行使の主張をしないことに同意します。

（著作者の権利）

第2条

- 1 当該著作物を利用するときは、貴委員会の許諾を得るものとします。貴委員会からの許諾は、事前に書面により申請し取得します。
- 2 著作権法に規定する著作権の制限（著作権法第30条から第50条）による利用、又は翻訳・翻案による利用に限り、前項の許諾を得ないものとします。ただし、次に掲げる場合には、この限りではありません。
 - （ア）営利を目的とする場合
 - （イ）日本国内外の学会誌、学術誌等への二重投稿をする場合
 - （ウ）その他公正な慣行に合致する範囲を超えている場合

上記事項に同意の上、以下に掲げる論文等の著作権を貴委員会に譲渡することを承諾します。

年 月 日

表 題 :

著者名：（複数の場合、全員を記載のこと）：

所 属 :

掲載誌名： 静岡県立大学短期大学部研究紀要

署 名：（複数の場合、全員分記載する）

（用紙が不足する場合はコピーして作成すること）

（所属） _____ （氏名） _____